



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東葛ホールディングス  
 コード番号 2754 URL http://www.tkhd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 俊之  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉井 徹 TEL 047-346-1190  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	5,142	0.9	286	4.2	293	6.5	185	6.6
28年3月期第3四半期	5,094	△5.6	274	△20.3	275	△18.7	174	△15.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 185百万円 (6.6%) 28年3月期第3四半期 174百万円 (△15.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	38.37	37.42
28年3月期第3四半期	36.08	35.27

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,089	3,655	59.7
28年3月期	6,521	3,513	53.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 3,633百万円 28年3月期 3,496百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,535	8.1	486	29.6	474	25.9	302	27.9	62.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	4,840,000株	28年3月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,701株	28年3月期	1,701株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	4,838,299株	28年3月期3Q	4,828,299株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年12月31日）におけるわが国の経済環境は、個人消費の改善の動きは依然として緩やかであるものの、企業収益は持ち直しの動きをみせ、雇用環境等も改善の動きを続けている等、全体では緩やかに回復しつつある状況で推移しております。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、届出車（軽自動車）の販売は燃費不正問題の影響により前期を下回る状況で推移しているものの、登録車（普通自動車）の販売は前期を上回る状況で推移していることから当第3四半期連結累計期間の国内新車販売台数は3,500,154台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比0.9%増）となりました。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

新車販売につきましては、当社の販売するホンダ製の軽自動車については上記燃費不正問題の影響は無いことから届出車（軽自動車）の販売が増加しました。販売台数は1,471台（前年同四半期比0.3%増）となりました。また、軽自動車比率の増加により登録受取手数料等の手数料収入は減少したものの、整備業務を行うサービス売上は増加したことから売上高は41億24百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

中古車販売につきましては、新車販売からの下取車の他、オークション等による外部仕入等により販売車両の確保に注力しましたが、販売台数は1,444台（前年同四半期比8.8%減。内訳：小売台数597台（前年同四半期比16.0%減）、卸売台数847台（前年同四半期比3.0%減））となりました。また、登録受取手数料等の手数料収入は減少しましたが、サービス売上は増加しました。売上高は9億40百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業では、前年に開設いたしました新店舗が通期で売上に寄与したことから保険契約件数及び保険取扱手数料はともに増加しました。売上高は77百万円（前年同四半期比15.8%増）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は51億42百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は2億86百万円（前年同四半期比4.2%増）、経常利益は2億93百万円（前年同四半期比6.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億85百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。これは、売上高は前年同四半期比微増となるなか、経費節減に努めたことによるものです。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は32億52百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億13百万円減少いたしました。これは商品及び製品が75百万円、その他の流動資産が16百万円それぞれ増加、現金及び預金が42百万円、受取手形及び売掛金が4億62百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は28億37百万円となり、前連結会計年度末に比べて18百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が8百万円、投資その他の資産が8百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、総資産は60億89百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億31百万円減少いたしました。

##### （負債）

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は21億43百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億8百万円減少いたしました。これはその他の流動負債が14百万円増加、買掛金が1億68百万円、短期借入金が3億14百万円、賞与引当金が30百万円、未払法人税等が10百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は2億90百万円となり、前連結会計年度末に比べて64百万円減少いたしました。これは長期借入金が37百万円、その他の固定負債が27百万円それぞれ減少したことによるものです。

この結果、負債合計は24億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億73百万円減少いたしました。

##### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は36億55百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億42百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1億85百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は59.7%（前連結会計年度末は53.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、当四半期連結会計期間末には13億86百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は3億74百万円（前年同四半期は1億59百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益2億93百万円から主に減価償却費87百万円、売上債権の減少額4億79百万円、賞与引当金の減少額30百万円、たな卸資産の増加額1億25百万円、仕入債務の減少額1億68百万円、その他の資産の増加額14百万円、その他の負債の減少額33百万円及び法人税等の支払額1億18百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は15百万円（前年同四半期は7百万円の使用）となりました。これは貸付金の回収による収入8百万円、差入保証金の回収による収入5百万円、有形固定資産の取得による支出24百万円及び差入保証金の差入による支出4百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は4億円（前年同四半期は3億83百万円の使用）となりました。これは借入金の返済による支出3億52百万円及び配当金の支払による支出48百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,428,951	1,386,645
受取手形及び売掛金	1,777,122	1,314,738
商品及び製品	334,334	409,448
その他	125,187	141,609
流動資産合計	3,665,595	3,252,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	439,107	418,591
機械装置及び運搬具（純額）	197,293	199,455
土地	1,985,328	1,990,818
その他（純額）	3,920	7,844
有形固定資産合計	2,625,650	2,616,709
無形固定資産	2,084	1,593
投資その他の資産	228,123	219,215
固定資産合計	2,855,857	2,837,519
資産合計	6,521,453	6,089,961
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	495,353	327,304
短期借入金	1,709,910	1,395,285
1年内返済予定の長期借入金	50,004	50,004
未払法人税等	43,835	33,256
賞与引当金	50,408	19,848
その他	302,795	317,648
流動負債合計	2,652,306	2,143,347
固定負債		
長期借入金	129,153	91,650
その他	226,446	199,112
固定負債合計	355,599	290,762
負債合計	3,007,906	2,434,110
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	211,085	211,085
資本剰余金	200,496	200,496
利益剰余金	3,085,128	3,222,413
自己株式	△673	△673
株主資本合計	3,496,036	3,633,321
新株予約権	17,511	22,529
純資産合計	3,513,547	3,655,851
負債純資産合計	6,521,453	6,089,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	5,094,187	5,142,539
売上原価	3,858,994	3,925,218
売上総利益	1,235,193	1,217,321
販売費及び一般管理費	960,235	930,878
営業利益	274,957	286,443
営業外収益		
受取利息	1,170	1,047
受取手数料	7,836	10,388
その他	3,126	3,480
営業外収益合計	12,133	14,917
営業外費用		
支払利息	11,154	7,512
その他	—	36
営業外費用合計	11,154	7,548
経常利益	275,936	293,811
特別損失		
固定資産処分損	499	78
特別損失合計	499	78
税金等調整前四半期純利益	275,437	293,733
法人税等	101,195	108,064
四半期純利益	174,241	185,668
親会社株主に帰属する四半期純利益	174,241	185,668

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	174,241	185,668
四半期包括利益	174,241	185,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,241	185,668
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	275,437	293,733
減価償却費	97,787	87,094
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28,577	△30,560
株式報酬費用	4,617	5,018
受取利息及び受取配当金	△1,170	△1,047
支払利息	11,154	7,512
固定資産処分損益 (△は益)	499	78
売上債権の増減額 (△は増加)	307,009	479,245
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△63,842	△125,062
仕入債務の増減額 (△は減少)	△185,794	△168,049
その他の資産の増減額 (△は増加)	1,117	△14,843
その他の負債の増減額 (△は減少)	△73,139	△33,336
小計	345,099	499,782
利息及び配当金の受取額	18	18
利息の支払額	△11,196	△7,617
法人税等の支払額	△174,314	△118,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	159,607	374,118
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△13,194	△24,268
無形固定資産の取得による支出	△1,741	—
貸付金の回収による収入	8,046	8,046
差入保証金の差入による支出	△3,085	△4,800
差入保証金の回収による収入	2,500	5,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,475	△15,913
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△294,459	△314,625
長期借入金の返済による支出	△41,113	△37,503
配当金の支払額	△48,282	△48,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△383,855	△400,511
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△231,723	△42,306
現金及び現金同等物の期首残高	1,418,796	1,428,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,187,073	1,386,645

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,094,724	932,721	5,027,445	66,742	5,094,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	192,307	77	192,384	146,167	338,551
計	4,287,032	932,798	5,219,830	212,909	5,432,739
セグメント利益	237,346	116,507	353,854	27,300	381,154

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業  
関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	353,854
「その他」の区分の利益	27,300
セグメント間取引消去	△148
全社費用(注)	△106,048
四半期連結損益計算書の営業利益	274,957

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,124,682	940,568	5,065,250	77,289	5,142,539
セグメント間の内部売上高 又は振替高	266,278	42	266,320	134,910	401,231
計	4,390,960	940,610	5,331,571	212,200	5,543,771
セグメント利益	293,410	98,446	391,856	19,652	411,508

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業  
関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	391,856
「その他」の区分の利益	19,652
セグメント間取引消去	△537
全社費用（注）	△124,527
四半期連結損益計算書の営業利益	286,443

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。